

水族館記録 — 2012 年度

1. 研究・教育

- 2月29日 西田宏紀 教授と院生3人(大阪大学大学院理学研究科西田研究室)が研究用マボヤ154個体を搬入し、大型実験水槽(第3水槽棟作業室)を8.0-8.5℃に冷却して蓄養を始めた(研究概要については本年報第21巻、8ページ参照)。その後4月26日に回収に訪れ蓄養を終了した。
- 3月2日 幸塚久典 技術専門職員(東京大学)にウミシダ類標本15個体分を提供した。
- 4月11日 大阪シニア自然大学校(46人)のバックヤード見学を指導した。
- 4月11日 301号水槽の、大気中CO₂が海洋に与える影響を調査する実験を終了した。これにともない、ムラサキウニ湿重量計測を終了した。2007年8月15日に開始し、計81回の計測を行った。
- 4月23日 琉球大学の大慈彌みち子 研究員にサカサクラゲ13個体を提供した。
- 5月7日 島でウニ類の個体数調査を行った。この調査は大垣俊一氏が中心となって継続して行っているもの。
- 5月21日-22日 奈良学園登美ヶ丘中学校(生徒119人、教諭6人)のバックヤード見学を指導した。
- 5月24日 日置中学校(生徒21人、教諭3人)のバックヤード見学を指導した。
- 6月15日 開智中学校(生徒32人、教諭2人)のバックヤード見学を指導した。
- 6月26日 白浜第二小学校(生徒9人、教諭・保護者11人)のバックヤード見学を指導した。
- 8月1日 白浜小学校5年生部会(10人)のバックヤード見学および生物集計体験を指導した。
- 8月6日 上富田小学校5年生部会(5人)のバックヤード見学および生物集計体験を指導した。
- 8月28日-29日 尾鼻 章宏 教員(高雄中学校)の地域社会体験研修の一環とし

て、飼育体験を指導した。

- 10月16日-20日 博物館実習を行った。実習生は1名で、給餌、水槽掃除、生物採集や濾過槽管理などを指導した。
- 10月23日 田辺第一小学校(28人)の見学を指導した。
- 11月2日 秋津川中学校(生徒13人、教諭8人)のバックヤード見学を指導した。
- 12月22日-2013年5月1日 西田宏紀 教授と院生3人(大阪大学大学院理学研究科西田研究室)が研究用マボヤ420個体を搬入し、大型実験水槽(第3水槽棟作業室)を8.0-8.5℃に冷却して蓄養を行った(研究概要については本年報第21巻、8ページ参照)。

2. 普及

- 2011年12月1日-2012年1月9日「冬休み解説ツアー」を教員4人と飼育担当4人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し(定員各10人)、表側122人、裏側139人が参加した。
- 2月18日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は10名。
- 3月24日-4月5日 「春休み解説ツアー」を、教員4人と飼育担当4人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し(定員各10人)、表側73人、裏側103人が参加した。
- 4月14日-15日 白浜町主催の商工祭で展示を行った。展示内容は、30cm水槽5つ・パネル・ポスターなどで、ミズクラゲやメジナなどを含む20種を展示した。
- 4月21日 「水族館の磯採集体験」(9:30-11:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は6名。

5月13日 朝日放送のヤマトメリベに関する取材に対応した。

5月19日 「水族館の磯採集体験」(9:30-11:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は20名。

6月16日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は21名。本来は「水族館の磯採集体験」を行う予定だったが、雨天のため「水族館の飼育体験」に変更した。

7月21日-9月2日 「夏休み解説ツアー」を、教員5人と飼育担当4人および研究員2人で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明し(定員各10人)、表側309人、裏側369人が参加した。

7月23日-8月29日 「大水槽エサやり体験」を飼育担当4人で実施した。毎週月・火・水曜日の15時00分から約15分、101号水槽と226号水槽のエサやりを体験してもらった。参加者は177人。

7月28日-8月26日 「海の生き物何でも相談会」を実施した。7月28日、29日、8月25日、26日の4日間で10時00分から16時00分まで、海の生き物に関する様々な質問に回答した。

7月28日 紀伊民報が「海の生き物何でも相談会」の様子を取材した。

8月9日 読売テレビがオオカワリギンチャクについて取材した。

9月15日 第83回動物学会で開催された「動物学ひろば」に参加した。スズメダイ類の幼魚やヤドカリ類など計20種の生体を展示した。

10月20日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は14名。

12月15日 「水族館の飼育体験」(13:30-15:30)(和歌山県教育委員会主催「きのくに県民カレッジ」の連携講座)を行った。参加者は3名。

12月17日 朝日新聞のバックヤードツアーに関する取材に対応した。

12月22日 紀伊民報が「バックヤードツアー」の様子を取材した。

12月22日-2013年1月7日「冬休み解説ツアー」を、教員5人と飼育担当3人および研究員2名で実施した。10時45分から表側の展示水槽を、11時15分からバックヤードを案内・説明した(定員各10人)。

3. 収集・飼育・展示

2月4日 212号水槽(「節足動物門 甲殻亜門 軟甲綱」)で2002年8月6日から使用していたバイク用ライトの本体を交換した。これにより、すべてのバイク用ライトの更新が完了した。

3月20日 304号水槽で2010年5月4日から長期飼育していたホシキカイウツボ1尾が死亡した。この個体は鈴木博之氏より受贈されたもの。

4月23日 302号水槽で長期間飼育していたアカクラゲ1個体が死亡した。2011年3月23日に飼育を開始し、397日間生存した。

5月28日-6月4日 229号水槽(「磯の生物」)の水位を下げ、メジナ類85尾を南浜へ放流し、シリコンを補修した。

6月25日-7月6日 211号水槽(「節足動物門 甲殻亜門 軟甲綱」)の水漏れが悪化したため、シリコンの打ち直しを行った。

7月11日 302号水槽のヒダベリイソギンチャクを除去するため、淡水を張った。ヒダベリイソギンチャクの展示終了により、白浜周辺以外の生物はサザエのみとなった。

7月22日-23日 221号水槽(「節足動物門 甲殻亜門 軟甲綱」)の底排水が泥でつまり、水位が上昇した。底排水のバルブを取り外し、パイプ内を掃除して、つまりを解消した。

10月23日 読書コーナーの「水の生物」図鑑・「魚」図鑑(小学館)を更新した。

10月30日 403号水槽(「岩礁 黒潮の豊かな生物」)で展示動物の入れ替え作業(主に0歳魚に更新)を行い、同時に底砂の洗浄などの大掃除をした。

11月6日 第2水槽室で展示していた電子顕微鏡を撤去した。

11月13日-20日 404~406、409~411号水槽(魚類のみを展示している6個の水槽)の大掃除を行った。いくつ

- 11月14日 かの種では他の水槽へ移収したり、予備水槽の魚と交換したりした。
- 11月27日 101号水槽の幼魚育成イケース内の魚類をすべて外に出し、イケースを撤去した。
- 11月27日 408号水槽（「水族館 当館で育てたサンゴ礁魚類」の中型ハタ類7個体を413号水槽（「スズキ目 フエダイ科・ハタ科・イシダイ科」）に収容した。

4. 受贈

- 2月10日 大江富夫 さん（白浜町）より、ゾウリエビ3個体（全長15～18cm、瀬戸）。
- 4月 5日 檜山嘉郎 さん（白浜町）より、タガヤサンミナシ3個体（全長5cm、富田川口）。
- 4月 8日 佐田空斗 さん（田辺市）より、ニセカエルウオ2尾（全長10cm、鳥ノ巣）、カサゴ1尾（全長6cm、鳥ノ巣）、クロホシアカナマコ（全長10cm、鳥ノ巣）。
- 4月15日 佐田有飛 さん（田辺市）より、アゴハゼ2尾（全長2cm）、ギンユゴイ1尾（全長4cm）、クロメジナ8尾（全長4cm）、ムラサキクルマナマコ1個体（全長3cm）、ショウジンガニ1個体（甲幅5cm）、オウギガニ5個体（甲幅1cm）、他12種138個体。
- 5月 6日 岩本孝寛 さん（白浜町）より、アズキイボヒトデ1個体（腕長4cm、才野）。
- 5月21日-8月31日 真鍋 正 さん（白浜町）より、イワガキ1個体（全長20cm、田辺湾）。ボウシュウボラ1個体（全長17cm、田辺湾）、ミヤコウミウシ1個体（全長12cm、田辺湾）、ヒトエガイ1個体（全長30cm、田辺湾）、カイカムリ1個体（甲幅10cm、田辺湾）。
- 5月22日 真鍋 馨 さん（白浜町）より、タイワンキサゴ1個体（全長1cm）。
- 8月17日 島 和敏 さん（白浜町）より、ナンヨウツバメウオ1尾（全長6cm、藤島）。
- 8月30日 刑部 全晃 さん（三重県）より、イトヒキアジ3尾（全長6～7cm、潮岬）。
- 9月28日 岡本昭生 さん（白浜町）より、キタマクラ5尾（全長5cm）、カワハギ1尾（全長10cm）、メジナ1尾（全長8cm）、すべて袋港。

- 10月29日 荒賀忠一 さん（白浜町）より、ヒラスズキ1尾（全長20cm）、オキフエダイ5尾（全長5～17cm）、クロホシフエダイ4尾（全長7～13cm）、コショウダイ1尾（全長17cm）、すべて日置川河口。
- 11月16日 山名祐介 さん（和歌山県立自然博物館）よりヒトエガイ1個体（全長13cm、北浜）。

5. 生物観察メモ（水槽・野外）

- 8月14日 209号水槽（「節足動物門 甲殻亜門 顎脚綱」）のカメノテの触手が傷ついた。イソギンチャク駆除用に収容していたソウシハギが触手を食べてしまったと考えられた。

6. その他

- 3月30日 楽学荘前のフェンスに水族館看板を設置した。これにより、北側からの来館者が水族館の存在に気付きやすくなると期待される。
- 6月19日 台風4号が接近したため、午後は休館とした。
- 6月28日-29日 姫路市立水族館で行われた日本動物園水族館協会第78回近畿ブロック水族館飼育係研修会に山内洋紀技術職員が参加した。
- 7月10日 第2水槽室濾過槽のメインバルブのハンドルに亀裂が入った。交換を検討したが、取り外すことができず、しばらく様子を見ることになった。
- 7月20日 臨海実験所正門前に水族館案内看板を設置した。
- 9月25日 403号水槽前の窓を黒色塩化ビニル板で密封し、外が見えないようにした。
- 9月30日 台風17号の接近により暴風警報が発令されたため、午前11:00に閉館した。
- 12月11日 防災訓練を行った。